

[In Chinese - 中文版](#)[In English](#)[In French - en français](#)[In German - auf Deutsch](#)[In Italian - in italiano](#)[In Japanese - 日本語で](#)[In Korean - 한글](#)[In Russian - на русском](#)[In Serbian - на српском jeziku](#)[In Spanish - en español](#)

IFCMからのお知らせ

IFCMの各委員会、3カ月間の成果

IFCM Eニュース2月号 (**February IFCMeNEWS**) でご紹介した当連合の各委員会が過去数週間どのような仕事をしてきたか、早速、みなさんにご報告させていただきます。各委員会の委員たちの熱意と彼らのあげた成果に、深く感謝いたします！ 特に記述のない場合、委員はすべてIFCMの理事か職員です。

IFCM WSCM 2023 委員会

2023年世界合唱シンポジウム (WSCM) は、カタール合唱協会 (**Qatar National Choral Association – QNCA**) によって企画、主催されますが、ジョイントするふたつの委員会、芸術委員会と運営委員会にも具体的な役割と責任があります。これらの委員会には、IFCMとQNCAからそれぞれ同数の代表者が参加しています。

Jan Schumacher (ドイツ) と Giovanni Pasini (QNCA、カタール) を委員長とする芸術委員会は、シンポジウムの芸術面、すなわち、シンポジウムのメインテーマの展開、合唱団や講師の選択、演奏会スケジュールの組み立て、フリンジ・プログラムの考案、展示会のプランニング、シンポジウムの枠組み内のスペシャル・コンサートやアクティビティーの構想といったことに責任を負います。この委員会のメンバーは、Cristian Grases (IFCM代表、アメリカ)、Nasser Sahim Nasseb (QNCA、カタール)、Beverly Shangkuan-Cheng (IFCM代表、フィリピン)、Alena Pyne (QNCA、カタール)、Dana Alfardan (名誉委員、カタール)。



West Bay skyline, Doha, Qatar



Ki Adams (カナダ) と Jennifer Taynen (Q N C A、カタール) を委員長とする運営委員会は、シンポジウムの制作面、すなわち、運営と財政にかかわる事柄すべてに責任を負います。その仕事には、予算、スケジュール、マーケティング、参加者の登録、チケット販売、人員、技術サポート、宿泊施設など、シンポジウム開催にかかわる諸事の監督が含まれます。この委員会のメンバーは、Gábor Móczár (ハンガリー)、Aljazi Al Henzab (Q N C A、カタール)、江川善裕 (日本)、Anwar Al Nimri (Q N C A、カタール)、Khalid Salim (名誉委員、カタール) です。

IFCM 国境なき指揮者団委員会

国境なき指揮者団 (**Conductors Without Borders – CWB**) は、合唱協会が存在しない国や地域においてその創設を促し、それらの協会を I F C M のネットワークに組み込むことを目的として、2007年に発足しました。これまで、CWBのプログラムはラテン・アメリカやアフリカで展開されています。

CWBの新委員会は、そのプログラムを構成し直し、上記以外の場所でもセミナーを行うことを決定しました。対象となるのは、指揮者のみなさんがさまざまな理由から、優れた指導力を身に着けるための専門家による手助けや教育を受けられずにいる国や地域です。



CWB in Argentina in 2019

委員会の第1回オンライン会議で、各地域の担当が下記のように決まりました。

- アフリカ : Yveline Damas (ガボン)、
Thierry Thiébaud (委員長、フランス)



- アジア・パシフィック地域 : Jan Schumacher (ドイツ)、
江川善裕 (日本)
- アラブ諸国 : Burak Onur Erdem (トルコ)、
Victoria Liedbergius (ノルウェー)、
Roula Abou Baker (レバノン)
- ラテン・アメリカ : María Guinand (ベネズエラ)、
Ana Patricia Carbajal (メキシコ)

現地でのセミナーに加え、指揮法の基礎を学ぶための動画によるトレーニングが、すべての地域で実施される予定です。これは、CWBがラテン・アメリカですでに活用しているコストパフォーマンスに優れた、教育的効果の高い方法です。

IFCM 世界合唱の日委員会

世界合唱の日 ([World Choral Day](#) - WCD) は、きわめて影響力の大きい IFCM のプロジェクトであり、世界の合唱コミュニティの、平和、連帯、相互理解にかかわろうとする姿勢を示すものです。この委員会の仕事は、世界合唱の日の国際的な認知度を高め、その規定を見直し、新しい有意義なコミュニケーション方法を開拓することです。





委員会のメンバーは、Gábor Móczár (委員長、ハンガリー)、María Guinand (ベネズエラ)、長谷川冴子 (日本)、Burak Onur Erdem (トルコ)。この委員たちを、Emily Kuo Vong (ポルトガル)、Iva Radulović (セルビア)、Isabelle Métrope (ドイツ)、João Silva (ポルトガル) が補佐します。

2020年世界合唱の日の成功は、まとめの動画に記録されており、そこには合唱団のさまざまな参加方法、すなわち、従来型のコンサート、バーチャル合唱団、過去の演奏の編集動画、無観客コンサートの4つの形式が示されています。2020年の参加合唱団の数は、新型コロナウイルス感染拡大のさなかにあっても多くのグループがある程度、活動を継続していることを証明しました。委員会は行動を開始し、大きく異なるものとなった過去の2年を考慮しつつ、2021年世界合唱の日の規定の作成に取り組んでいます。また、このプロジェクトを国連と結びつけるために、世界合唱の日の過去の記録を使ってプロモーション・ビデオを制作するという計画もあります。2021年世界合唱の日は、個人の歌い手のみなさんにも門戸を開きます。これによって、2019年に始まった、世界合唱の日の祝歌、アルベルト・グラウの「カンタンド」の大演奏は、より大規模なものになるでしょう。2021年も12月の第2日曜日は、世界合唱の日を祝い、合唱の演奏会がIFCMのコミュニケーション・チャンネルを通じて24時間、全世界に放送される特別な日でありつづけます。

IFCM 合唱教育プログラム委員会

合唱教育プログラム委員会は、自由に移動して対面で仕事ができるようになる時を見据え、バーチャルとオンラインで働くこの時期を、今後のマスタークラスやワークショップ、その他の合唱教育活動のプランニングに充てています。この委員会の目標は、不便の多い開発途上の地域に特に配慮し、オンラインと対面、両方のプログラムを用意することです。IFCMの教育プログラムは、IFCMに協力と援助を求めつづけてきた中央アジア、アジア・パシフィック地域、ラテン・アメリカ、その他、世界各地の開発途上の地域に焦点を当てたものとなります。IFCMのもっとも重要な資源は、世界中の偉大な合唱人とのつながりであり、合唱教育プログラム委員会はこの資源を、自らのプログラムを作ろうとしているみなさんのために活用する所存です。

委員会のメンバーは、Tim Sharp (委員長、アメリカ)、Jo-Michael Scheibe (アメリカ) (USA)、Gábor Móczár (ハンガリー)、Ana Patricia Carbajal (メキシコ)、Irvinne Redor (指揮者、フィリピン)、Naomi Faran (指揮者、イスラエル)、Kaie Tanner (指揮者、エストニア) です。

IFCM 国際合唱作曲コンクール委員会

Maria Guinand (ベネズエラ)、Jan Schumacher (ドイツ)、Burak Onur Erdem (委員長、トルコ) をメンバーとするIFCM国際合唱作曲コンクール委員会は、まずIFCMのこのプロジェクトを評価することから仕事を始めました。このグループの主要な役割は、合唱界のニーズに応じてコンクールのありかたを見直すことです。委員たちは、モデルとなるコンクール、世界のコンクールの現状、授与しうる賞、新たな形態といった項目に取り組んでいます。数々のアイデアとあふれる熱意により、新たな形式のコンクールが考案されつつあります。

IFCM 上海協力機構青少年合唱団委員会

上海協力機構青少年合唱団（SCOCYC）は、ユーラシアのいくつかの国々を結びつけることをめざす特別な国際ユースクワイアです。SCOCYC委員会は、以下のふたつの活動に取り組んでいます。1）SCOCYCとその功績を世界に宣伝するデジタル・プレゼンテーションの考案。2）2019年のオリジナルのメンバーによる2021年オンライン・セッションの考案（新型コロナウイルスの感染拡大期から生のセッションが可能になるまでのつなぎとして）。

委員会のメンバーは、Gábor Móczár（委員長、ハンガリー）、長谷川冴子（日本）、Ki Adams（カナダ）、Burak Onur Erdem（トルコ）、André de Quadros（SCOCYC指揮者、アメリカ）。この委員たちを、Emily Kuo Vong（ポルトガル）、Iva Radulović（セルビア）、João Silva（ポルトガル）、Maria Goundorina（SCOCYC指揮者、ロシア/ノルウェー）、Yu Hang Tan（SCOCYCセッション・マネージャー、マレーシア）が補佐します。

2019年の当初の案では、SCOCYCのセッションは毎年、企画されることになっていました。これは、IFCMが上海協力機構（Shanghai Cooperation Organization – SCO）と強力な関係を築けるようにするためです。SCOCYCを通じてSCOの18の国々と強い文化的関係を築くこともまた、IFCMのねらいです。2020年のセッションはロシアのサンクトペテルブルグで実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期せざるをえませんでした。そこで、プロジェクト続行のため、2021年の第1回オンライン・セッションは2021年3月末までに実施することになりました。団は年内にふたつの録音をリリースする予定ですが、これらの録音は、2019年の中国でのセッションの動画、インタビュー、写真、録音資料と併せて、プロが制作するSCOCYCプロジェクトのドキュメンタリー映画に使用されます。

**IFCM 世界青少年合唱団委員会****数多の声、多様な文化、優れた音楽性、ひとつのメッセージ**

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界青少年合唱団（WYC）のセッションがふたつ中止となってしまいました。ひとつは、2020年のドイツ連邦青少年管弦楽団とのセッション、もうひとつは、テキサス州ダラスで2年に1度、開かれる全米合唱指揮者協会（ACDA）全国大会



([national conference](#)) における2021年世界青少年合唱団の公演です。幸いA C D A全国大会はオンラインで開催されることになり、W Y Cもこのカンファレンスの期間中に存在感を示すことができました。カンファレンスの最後には、招待合唱団を紹介する演奏会、プレジデント・コンサートが催されたのですが、その冒頭に、世界青少年合唱団O B ・ O Gによるこの団の代表曲、「アイリッシュ・ブlessing ([An Irish Blessing](#))」(アイルランド民謡、ジェイムズ・E・ムーア編曲)のバーチャル演奏が流されたのです。W Y Cはまた、カンファレンスのバーチャル展示会に参加して、カンファレンス出席者のみなさんに、団のウェブサイトやW Y Cセッションの主催者となることをおすすめする資料をご紹介します。

現在の不確実な世界情勢を考慮し、世界青少年合唱団財団理事会は、2021年は通常のセッションを実施しないことを決定しました。2022年、2023年については、現在、いくつかの案が検討されており、そのなかには、アラブ合唱ネットワーク ([Arab Choral Network](#)) と提携して、カタールでセッションを行うというものもあります。2020年9月、W Y C財団は、ヨーロッパ合唱連盟がE P : I Cプロジェクトの一環として主催したオンライン・レセプションに出席しました。世界青少年合唱団のセッションの主催者になりたい方、この合唱団をなんらかのかたちで支援したい方は、こちらの宛先 (manager@WorldYouthChoir.org) に詳細をお問い合わせください。

世界青少年合唱団財団より、2021年の理事と芸術顧問をご紹介します。

世界青少年合唱団財団理事会

国際合唱連合 ([International Federation for Choral Music \(IFCM\)](#))

- Ki Adams (カナダ)、会長 President
- Emily Kuo (ポルトガル)、理事
- Iva Radulović (ポルトガル)、I F C M事務局長の職権上

ヨーロッパ合唱連盟

([European Choral Association - Europa Cantat \(ECA-EC\)](#))

- Victoria Liedbergius (ノルウェー)、芸術担当副理事長
- Martí Ferrer (スペイン、カタルーニャ)、理事
- Sonja Greiner (ドイツ)、ヨーロッパ合唱連盟 事務局長の職権により

青少年音楽国際連合 ([Jeunesses Musicales International \(JMI\)](#))

- Stéphane Grosclaude (フランス)、財務担当
- Tonci Bilic (クロアチア)、理事
- Blasko Smilevski (ベルギー)、青少年音楽国際連合 事務局長の職権上

世界青少年合唱団財団芸術顧問

- I F C M : Cristian Grases (アメリカ)

- ヨーロッパ合唱連盟 : Daniel Mestre (スペイン、カタルーニャ)
- 青少年音楽国際連合 : Géraldine Toutain (フランス)



WYC 2018 on the Great Wall of China

IFCM アジア・パシフィック・ユースクワイア委員会

アジア・パシフィック・ユースクワイア ([Asia Pacific Youth Choir – A P Y C](#)) の2020年のセッションは2021年11月に延期されましたが、選ばれた39名の団員たちは全員、マレーシア、クアラルンプールで実施されるA P Y Cの



One of the first sessions of the Asia Pacific Youth Choir



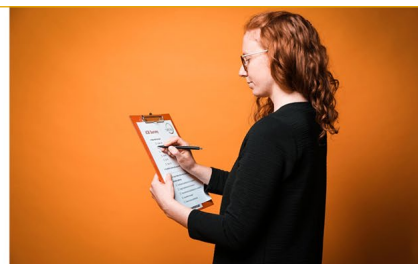
このセッションに招かれています。団員たちの出身国は、中国、香港、インドネシア、日本、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、台湾、とさまざまです。

お問い合わせ先: y.egawa.music@gmail.com

1981-2021:

40 years of International Choral Bulletin

Survey in English



IFCM創設メンバーからのお知らせ

ヨーロッパ合唱連盟 (E C A - E C)

2021年ユーロクワイアの申し込み締め切りまで、あと数日です。

今年のユーロクワイアのセッションは、2021年ヨーロッパ・カンタート・フェスティバルと同じ年に実施されるため、特別なものとなります。このフェスティバルへの参加に先立ち、団員たちは練習を行ったうえ、演奏旅行でアイルランドを回ります。

参加者のみなさんは以下のような機会に恵まれます。

- アイルランド南部マンスター地方の大都市リメリックで夏の10日間を過ごす
- アイルランド、リメリックで、卓越した指揮者、ユヴァル・ワインバーグとバーニー・シャーロックの指導のもと、演奏会の練習と準備に取り組む
- ふたつのすばらしい会場、聖マリア大聖堂（リメリック）とクライストチャーチ大聖堂（ダブリン）で演奏する
- セッションの締めくくりに、スロベニアの首都リュブリャナに行き、ヨーロッパ・カンタート ([EUROPA CANTAT Festival](#)) に参加する。
- 世界中から来る1000人以上もの歌手たちと出会い、その前で演奏する

こちらで詳細をご確認のうえ、お申し込みの手続きに取りかかってください。 [here](#)

締め切りは2021年4月12日です！

今年のユーロクワイアは、シング・アイルランド ([Sing Ireland](#)) の働きにより実現可能となりました。共同開催団体



はスロベニア共和国文化活動公共基金（[JSKD](#)）とヨーロッパ合唱連盟（[European Choral Association – Europa Cantat](#)）、支援団体はE P I Pプロジェクト、共同出資団体はヨーロッパ連合のクリエイティブ・ヨーロッパ・プログラム（[Creative Europe Programme](#)）です。



ヨーロッパ・カンタートに2500件を超える申し込み

ヨーロッパ・カンタートへの参加申し込み件数は、わたしたちの予想をはるかに超え、27の国から2500名以上となりました。スタッフ一同は誇らしさと喜びでいっぱいです！ その一方、わたしたちは責任の重さも認識しており、目下、フェスティバルの安全な開催のために全力を注いでいるところです。

来月、音楽委員会は登録内容をすべてチェックし、みなさんにご参加いただくアトリエに関して協議を行う予定です。これは、申し込みフォームに記入されたみなさんのご希望とフェスティバル側の運営上のキャパシティに基づいて決定されます。参加者のみなさんには4月初旬にお知らせが届く予定です。

それと同時に、運営チームは、新型コロナウイルスの安全対策のガイドラインに絶えず目を配り、プログラムのあらゆる部分について安全性と適切な環境を確保できるよう最善を尽くします。わたしたちは現在、フェスティバルを望



Europa
Cantat
Festival
#singwithlove



まじいかたちで実行するために、関係各機関と連絡を取り合い、4月末までにその承認を得るべく鋭意努力しています。

参加者のみなさんには、旅の計画を立てるのはもう少し先にして、まずは、旅行が可能なのか、飛行機やホテルのキャンセルが保険でカバーされるのか、確認するようおすすめします。

フェスティバルの詳細は、こちらでござんください。
<https://europacantat.jskd.si/>

それでは、7月にリュブリャナで！ [#singwithlove](https://twitter.com/singwithlove)

こちらのインタビュー ([this interview](#)) をぜひご視聴ください。ヨーロッパ合唱連盟のソーニャ・グライナー事務局長が、先日、リュブリャナを訪れた際に収録されたものです。

リュブリャナ中心部の合唱写真プロムナード

プロおよびアマチュアの写真家、合唱団員、合唱音楽愛好家、通行人、写真マニアのみなさん、どうかご注目を！ カメラや携帯電話を用意し、過去に撮った写真に目を通し、写真家の本能の赴くままに行動しましょう。2021年ヨーロッパ・カンタートには、あなたにうってつけのイベントがあります。

2021年7月1日～8月1日、リュブリャナのティヴォリ公園内、ヤコピチ・プロムナードで、合唱の世界写真展が催されることになりました。このフォト・コンテスト ([photo contest](#)) は国際的なものであり、世界に公表したい古い写真をお持ちの方も、このコンテストに触発され、合唱関連の高画質の写真を新たに制作したくなった方も、ともに参加することができます。

合唱活動を通じて特別な経験ができること、特殊な場に身を置けることは周知の事実です。リハーサル、本番、会場、演奏旅行、祝典、楽屋、等々。2021年ヨーロッパ・カンタートは、歌うという行為には、それに特化した写真展を催すだけの価値があるものと信じています！ リュブリャナの中心、ティヴォリ公園のヤコピチ・プロムナードでの展示会を通じて、このフォト・コンテストは国際合唱界をひとつにすることでしょう。

このコンテストには4つの部門があります。

- 過去/レトロ/ヴィンテージ——時を遡る。初期の合唱はどんなふうだったか？ ヘアスタイル、演奏会の衣装は？
- オン・ステージ——舞台上で歌う
- 楽屋——すべての魔法が生まれるところ
- プロモーション——合唱団の宣伝写真：ステージ周辺、および、その他の領域

作品は各部門につき4作まで送ることができます。



詳細、応募要項をこちらでご確認のうえ、お申し込みください：[here](#)

迷いを捨てて、ぜひ参加し、このフォト・イベントを楽しんでいただきますように！ 歌うという活動のさまざまな側面をあなたの写真で表現してください。

申し込み、および、作品提出の締め切りは、2021年4月19日月曜日です。



全米合唱指揮者協会（ACDA）

パンデミックのさなかにある合唱のプロのための情報源
([Resources for Choral Professionals During the Pandemic](#))

ACDAは、特に合唱指揮者と合唱指導者のために、情報、アイデア、ツールのページを作成しました。その大部分は無料で、ページは定期的に更新されます。

2022年ACDA地域別カンファレンスの予定が組まれました！

([ACDA's regional conferences have been scheduled for 2022!](#))

出演合唱団および勉強会の公募が始まっています。

- 東部（マサチューセッツ州ボストン）——2022年2月9日～12日
- 中西部（イリノイ州シカゴ）——2022年2月16日～19日
- 南部（ノースカロライナ州ローリー）——2022年2月23日～26日
- 南西部（アーカンソー州リトルロック）——2022年2月28日～3月3日



- 西部（カリフォルニア州ロングビーチ）——2022年3月2日～5日
- 北西部（ワシントン州スポケーン）——2022年3月9日～12日

IFCM会員からのお知らせ

合唱団や歌のグループのための新しい国際的調査研究

合唱団や歌のグループの協力を必要とする新たな研究をご紹介します。

カンタベリー・クライスト・チャーチ大学（イギリス）において、ケリー・ボイルとリン・レヴェルが、合唱団や歌のグループの参加を必要とする新たな調査研究を実施しようとしています。世界中の合唱団、および、歌のグループのみなさん、文化や背景を異にする幅広い層の経験を研究することができるよう、ぜひ同じ団やグループの仲間と一緒に、オンラインのアンケートにご協力ください。

この調査は、人はなぜ合唱団で歌うのか、また、新型コロナウイルス感染拡大のさなか歌うというのがどういうことであったかを調べるものです。コロナ禍により、ご所属の合唱団が練習できずにいる場合は、一緒に歌えないというのがどういうことであったか、定義づけていただければと思います。ご所属の団がオンラインで練習を行ってきた場合は、それがどのような経験であったかを、ぜひご教示ください。

みなさんのご回答は、合唱団やグループで歌うことの何がもっとも重要なのかに関し、研究者の理解を深めるのに役立ちます。この知見は後に、グループで歌うための既存の取り組みの質を高め、可能な活動の多様さに対する認識を促すために活かされます。

研究にご協力いただける方は、こちらのオンラインのアンケート ([complete an online survey](#)) にご記入ください。任意のケース・スタディへのご参加もよろしく申し上げます。アンケート記入の所用時間は12分程度。ご回答はすべて匿名となります。指揮者のみなさんはぜひ、指導する合唱団の方々に、このアンケートのリンク ([survey](#)) をご紹介ください。締切りは、2021年8月です。

この研究について詳しく知りたい方は、こちらにお問い合わせください。[Kerry Boyle](#)

世界の合唱イベントカレンダー——2021年4月、5月

ヨーロッパ合唱連盟（ECA-EC）発行の合唱イベントカレンダー ([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会（ACDA）のネットワーク、コーラルネット ([ChoralNet](#)) で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。